

平成28年度 学校評価（保護者・児童）アンケート結果について

川西市立清和台南小学校

校長 石田 剛

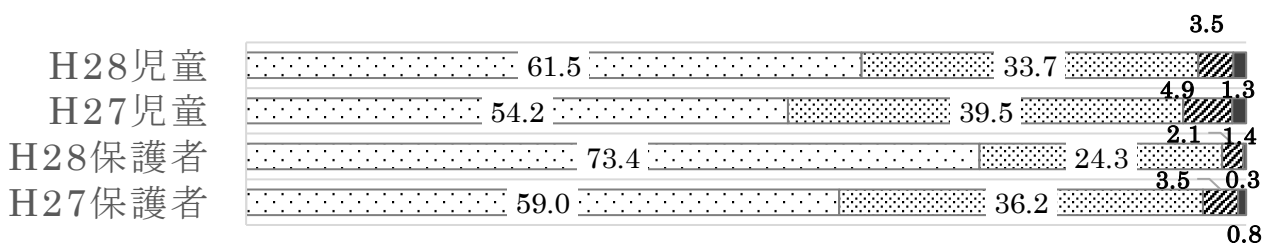
本年度2学期末に学校評価として、清和台南小学校の教育活動についてアンケートをお願いいたしました。この学校評価アンケートの結果を踏まえ、本年度の教育活動に対する自己評価を行い、その内容も含めて本校学校評議員会で講評をいただきましたので、ご報告させていただきます。これらの結果につきましては、今後の教育活動に活用していきたいと考えております。

今後も、本校教育活動の推進にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

掲載されているグラフにつきましては、左から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」という回答結果となっています。

【Ⅰ 学校生活】

学校は楽しい
子どもは楽しく学校に通っている



先生に楽しかったこと、困ったことなどを話しますか



学校の施設・設備は整備され、有効に活用されていますか

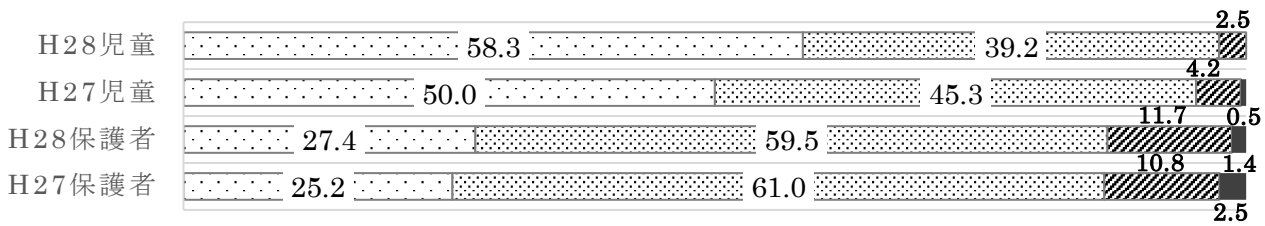


95%以上の児童・保護者が、「学校は楽しい。」「子どもは学校に楽しく通っている。」と感じているという結果がでています。また、施設面においても、90%以上の保護者が「学校の施設・設備は整備され、有効に活用されている。」と感じています。一方、学校に楽しく通ってはいるものの、25%近くの児童が、「先生に楽しかったこと、困ったことをあまり話さない。」という結果がでています。

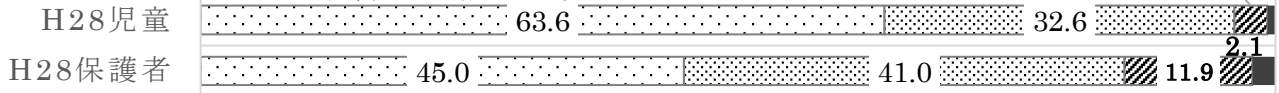
以上の結果から、今後、学校が楽しい場であるだけでなく、何でも相談できる場であるよう、環境づくりに努めていきたいと思ひます。

【Ⅱ 学習指導】

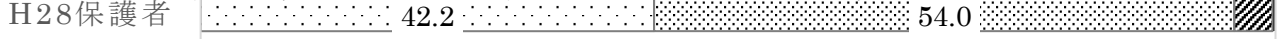
学校の勉強はよくわかっている



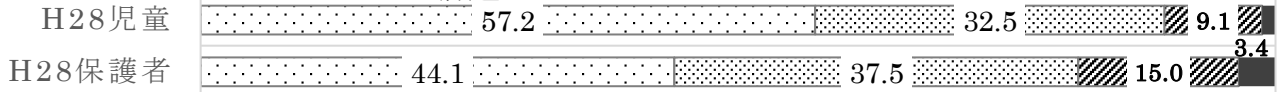
学習の準備を自分でしていますか



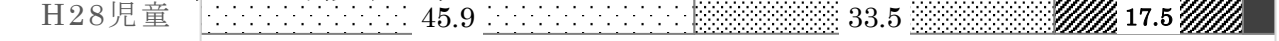
学校は、子どもたちに学力が身につくように指導している



進んで宿題などをしている



本をよく読みますか



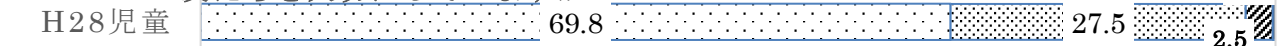
学校の勉強がわかると答えた児童は多く、概ね良好と判断します。しかし、わからないと感じている児童もいるので、昨年に引き続き、わからない児童に対して、個別の支援を行うことや、ICTの活用等、より効果的な授業を行うなど、学校と家庭の連携を取りながら、学習が定着し積み上がっていくように努力する必要があると感じます。

宿題を自主的にしていると答えた児童は多く、概ね良好と判断しますが、自主的にできていないと答える児童の割合も気になります。学校では、誰もがわかる授業に努め、前よりも伸びたところなどを励ましたり、褒めたりすることで、児童も自信をもって問題に取り組めると考えます。また、生活リズムを整え宿題を習慣化することが大切であると思います。

本を読む児童は増えてきています。朝の読書タイムや図書の時間で本を読む機会が増え、親しみを持つ児童が多くなってきています。本をあまり読まない児童については、読書紹介などの活動を今後一層進めていきたいと考えています。家庭でも、本を手にとる機会をたくさん持ってくださいようよろしくお願いいたします。

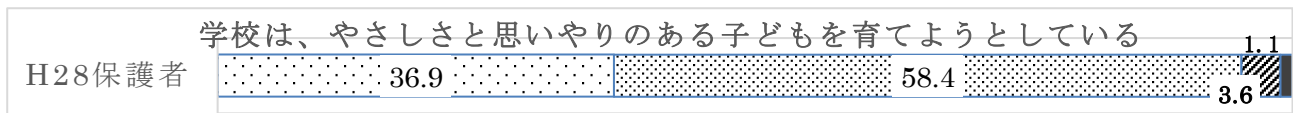
【Ⅲ 人権教育】

友だちを大切にしていますか



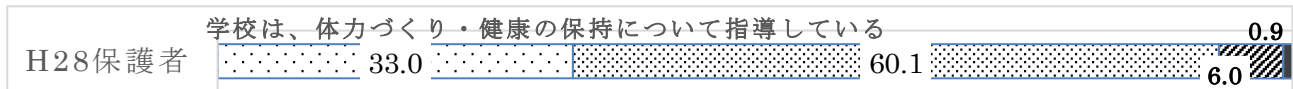
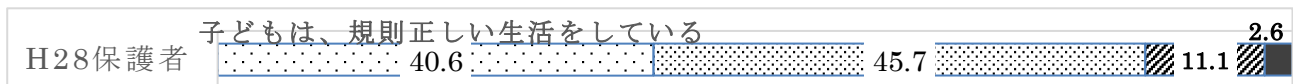
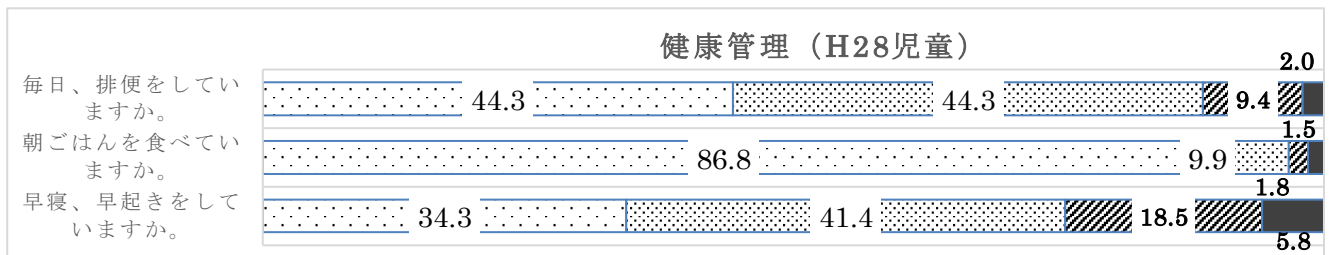
子どもは、周りの人に思いやりや感謝の心をもって接している





今年度は、各学期に「ハートハッピー週間」を設け、「違いを認め合う」ことや「自分や友だちを肯定的に受け止める」ことを意識した人権学習を行いました。また、各委員会や給食等でポスター作りや放送などハートハッピー週間ならではの活動を行い、児童・教職員ともに人権意識の向上を目指し、取り組みました。その結果、友だちを大切にして生活しているという児童が90%を超えていることから、取り組みの成果がうかがえます。また、保護者の方も学校が思いやりのある子どもを育てようとしていると9割を超える方が感じられています。その一方、子どもが思いやりや感謝の心を持って接していないとおおよそ1割の方が感じられています。学校では、引き続き授業や人権を意識した活動を通して思いやりの心、感謝の心を育てていきたいと思ひます。

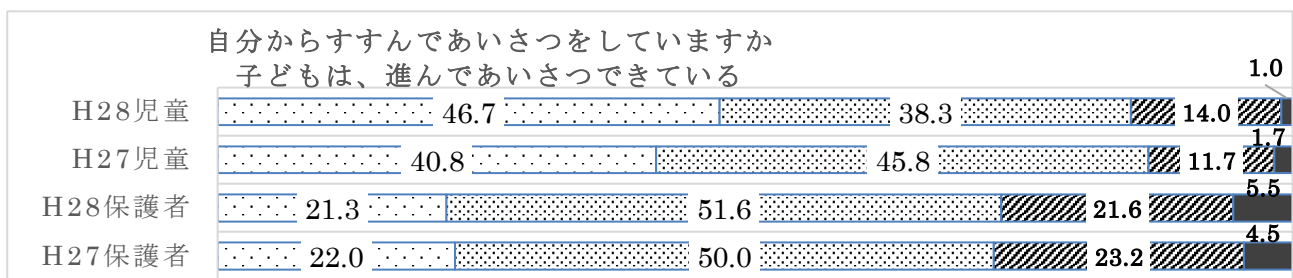
【IV 健康管理】

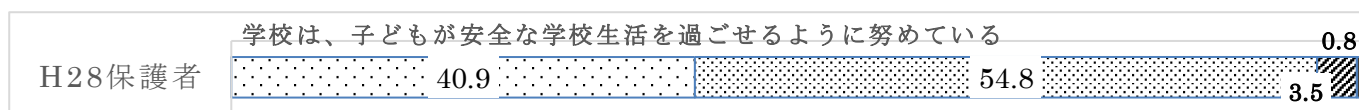
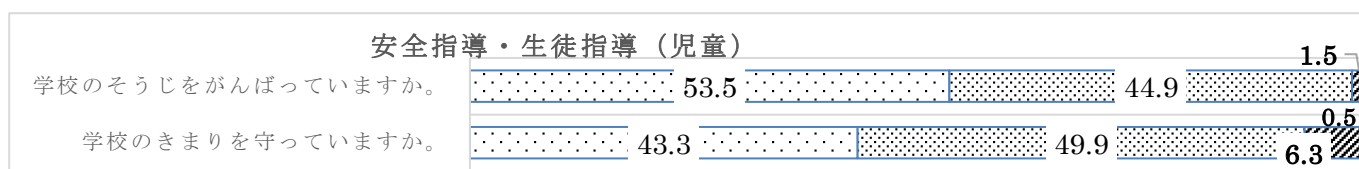


基本的な生活習慣は、細かい課題はあるものの、ご家庭の協力を得ながら、おおむね確立できていると思われます。規則正しい生活の重要性を意識できている児童が多いので、引き続き指導を行い、さらなる学校生活の充実と学力・体力アップにつながるよう、取り組んでいきたいと思ひます。

また、子どもたちの健康課題は、複雑化・多様化していますが、前向きな学習と適切な指導を心がけていきたいと考えます。

【V 安全指導・生徒指導】

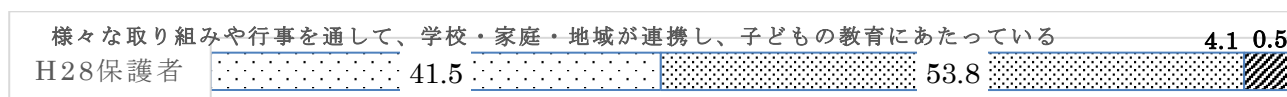
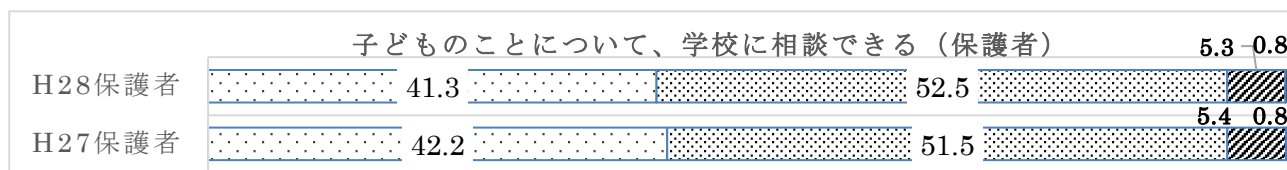
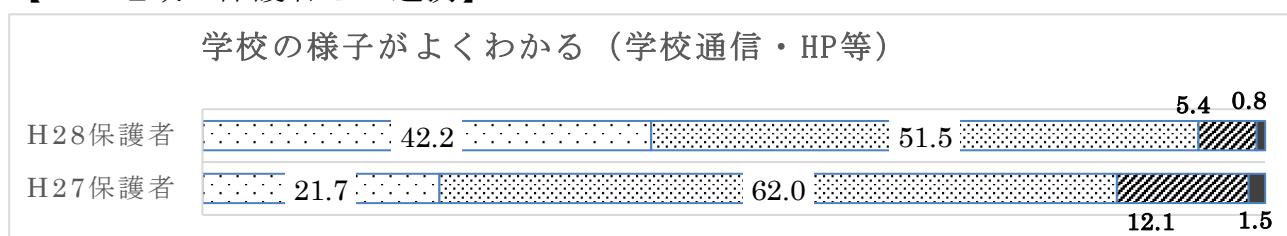




本校では、朝の登校指導、地区別集会、朝会などを通し交通ルールに関する指導を行ってきました。さらに、毎年一年生と三年生に交通安全教室を行っています。児童の日々の登下校ですが、道路を広がって歩いており周囲のことを考えて行動できていない部分が課題として挙げられます。児童が安全に過ごせるように、適宜交通ルールを守ることの大切さについて指導をしていきたいと思ひます。

あいさつについては、児童は「そう思う」が6ポイント上がっており、意識をして取り組んでいる児童もいるようです。ただ、否定的な回答の児童も15%あります。一方で、保護者からは「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」が27%にもなり、十分ではないと感じられている方も多いようです。児童が自発的にあいさつをできるよう、地域・家庭と連携しながら学校でも取り組んでいきたいと思ひます。

【VI 地域・保護者との連携】



「学校の様子が良く分かる」については、肯定的な意見が9割以上を占めていることから、今後も学校便りやホームページの充実に力を入れていきたいと思ひます。

「様々な取り組みや行事を通して、学校・家庭・地域が連携し、子どもの教育に当たっている」の項目では、95ポイント以上の保護者の方が肯定的な回答をされています。PTA活動を始め、登下校時での保護者や地域の方の見守りや、学校行事へのご参加など、積極的に学校に関わっていただいている中での結果だと感じております。学校としても、より一層に地域や保護者の方々と関わりを深めることができるように活動を行ってきたいと考えています。また、「子どものことについて、学校に相談できる」という項目については昨年度と同様、肯定的な意見が90ポイントを超えています。しかし、6ポイントの保護者の方がまだ相談しにくい状況もあることを踏まえ、今後も引き続き、児童のことについて気軽に相談できるような環境づくりにも努めていきたいと考えています。

学校評議員会 総括意見

【全般】

・学校評価の項目や形式をそれぞれの学校独自のものとしてしまうのではなく、中学校区で共通のものを考えていくことで、清和台中学校区としての相違点や共通点などが見えてくるのではないかな。

【Ⅰ 学校生活】

〔児童との相談〕

・児童とじっくり話すための時間の確保も大切であるが、一緒に遊んだり雑談したりすることで子どもたちとの信頼関係も深まる。

【Ⅱ 学習指導】

〔読書〕

・学校図書を充実させるために参観日などを活用して、家庭にある不要になった絵本などを寄贈してもらうなどの企画を実施してみたらどうか。

【Ⅳ 健康管理】

〔朝ごはん〕

・朝ごはんを食べているかどうかは、その児童の生活習慣や家庭環境にも影響される。子どもだけでなく、その背景にあるものを学校としてしっかり把握していく必要がある。

【Ⅴ 安全指導・生徒指導】

〔挨拶〕

・子どもたちが、集団としてする挨拶と個人としてする挨拶に、認識の違いを持っているのかもしれない。

・子どもたちが挨拶する習慣を身につけていくうえで、学校だけでなく保護者や地域の役割も重要である。大人である我々も一つの意思表示として、きちんと挨拶するように意識していかなければならない。

・挨拶は子どもによって表現の仕方がさまざまである。大きな声で挨拶する児童もいれば、会釈だけで挨拶する児童もいる。子どもの成長段階によって変わることも多いので、一律に同じ挨拶を求めず、子どもの内面に沿った形で考えていく必要がある。思春期にあまり挨拶をしなくても、成長した段階でまた挨拶をし始める場合も多い。

・子ども同士の挨拶はよくできているように感じる。また、学校以外の地域等で出会ったときに挨拶してくれる児童もいる。

【Ⅵ 地域・保護者との連携】

・子どもたちが活躍したりがんばったりしたことを地域にも報告し、自治会ニュースなどに掲載することで地域も活性化する。